

# 気仙沼観光マーケティングレポート(平成 30 年6月版)

## ◆今月のピックアップ

・主にビジネス客である「その他」の宿泊者の減少が続いている。一方で、全体を通して数字を読むと、観光そのものを目的とする観光客数はわずかではあるが増加傾向にあるといつてよいと思われる。それは物販施設・観光施設・観光案内所の利用人数の移動年計が少しずつではあるが年間を通じて上昇していることから読み取れる。

・このレポートでは、宿泊者数の統計上の指標としてビジネス客を含む「観光+その他」を重視しており、移動年計もその指標を用いている。1月より「観光+その他」の減少、特に「その他」の減少が続いていることから、今月はこれまでの「観光+その他」の指標に加え「観光」「その他」それぞれの移動年計を加えた。これを見ると「その他」は1月より大きく減少しているが、「観光」はほぼ横ばい(3月までは増加、その後減少傾向)である。

・復興需要の落ち着きからビジネス客が減少しているのは間違いないが、上述の通り観光客数は堅調に推移しており、今後はビジネス客を含む復興関係者の減少を観光客数の増加でいかにカバーしていくかが重要となる。

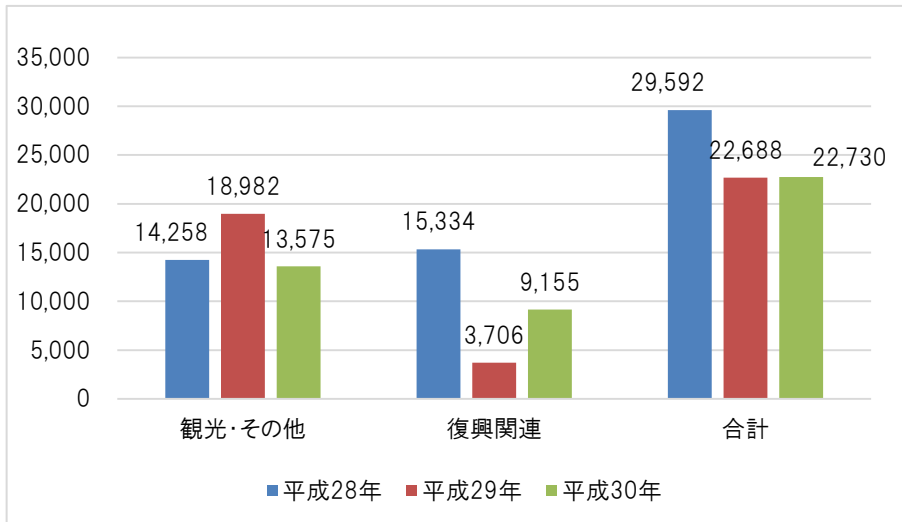
## 1. 宿泊

### (1) 宿泊者数

#### ① 同月前年比

(単位:人)

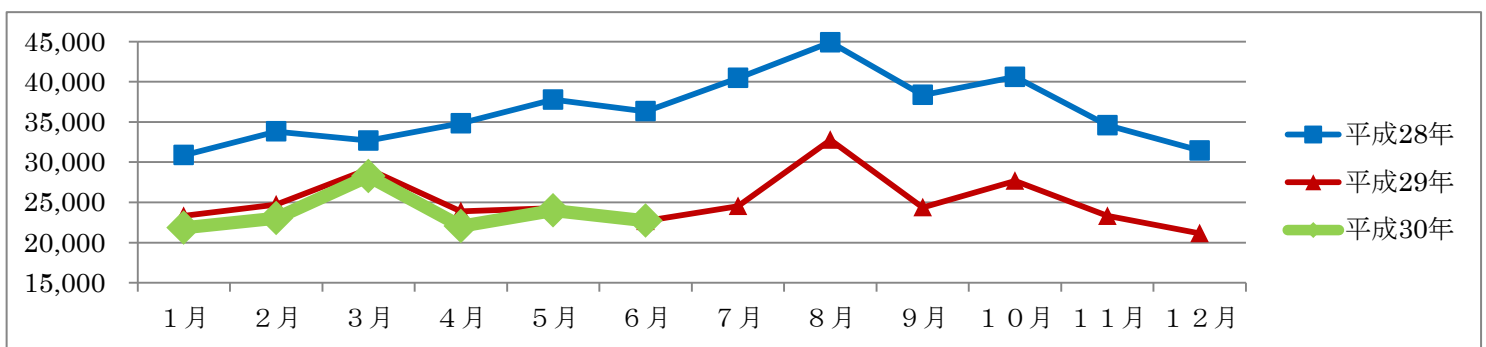
(単位:人)



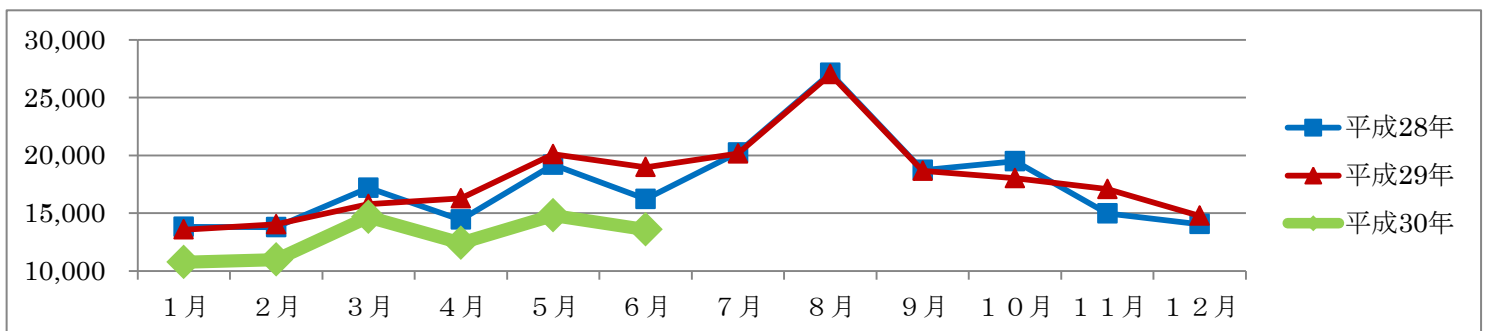
宿泊者数	平成 28 年 (5月)	平成 29 年 (5月)	平成 30 年 (5月)
観光・その他	14,258	18,982	13,575
(観光)	11,001	8,755	8,660
(その他)	3,257	10,227	4,915
復興関連	15,334	3,706	9,155
合計	29,592	22,688	22,730

※平成 29 年より「その他(主に復興事業以外のビジネス客)」の項目を増やし調査しています。

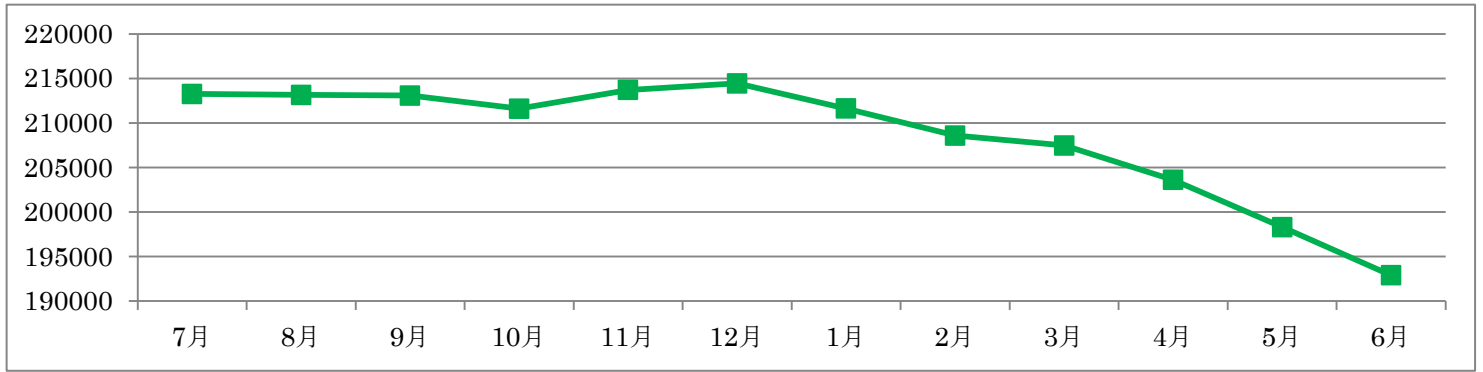
#### ② 年間推移(合計)



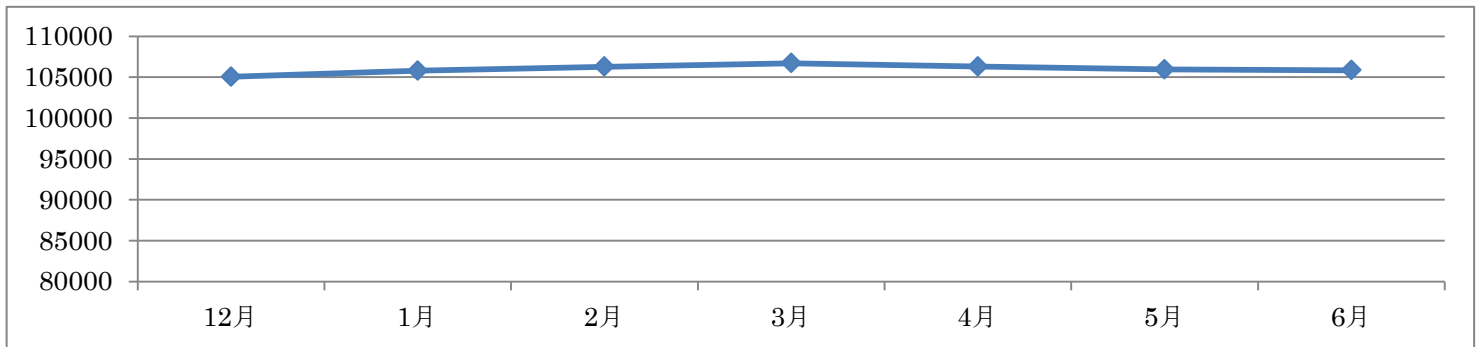
#### ③ 年間推移(観光+その他)



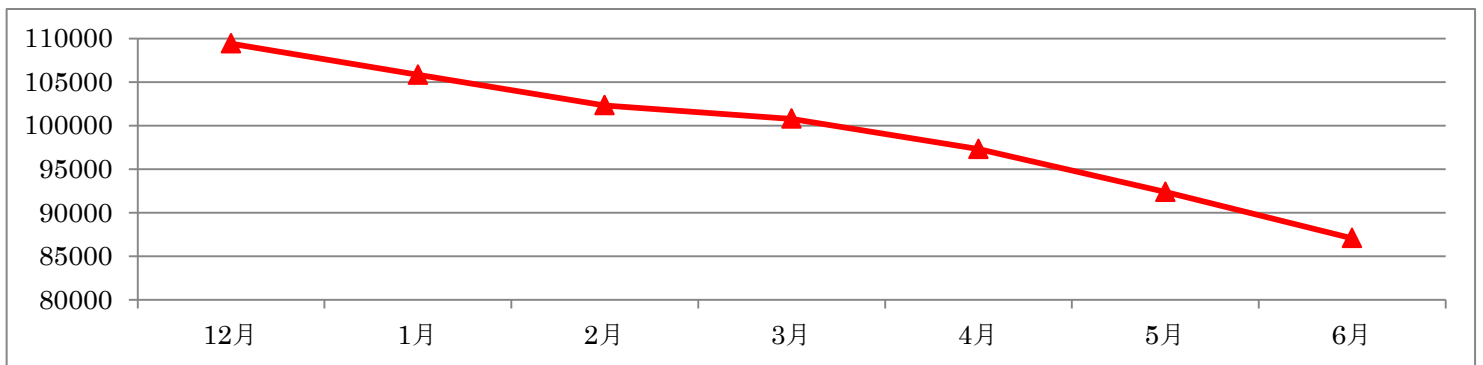
④移動年計(観光+その他)



⑤移動年計(観光)



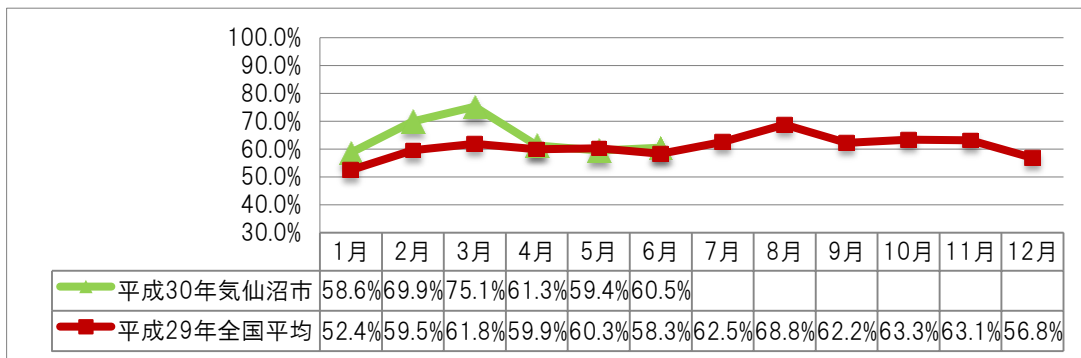
⑥移動年計(その他)



※「観光」「その他」の数値は平成 29 年より分けて調査をしたため、移動年計は年間累計が可能となる同年 12 月のスタート。

(2)客室稼働率

《参考データ》



宿泊施設タイプ別 (全国平均)	平成 29 年 (6 月)
旅館	34.0%
リゾートホテル	52.4%
ビジネスホテル	73.5%
シティホテル	78.0%
簡易宿所	27.7%

※平成 29 年全国平均は、観光庁宿泊旅行統計調査(平成 29 年・年間値(速報版))より

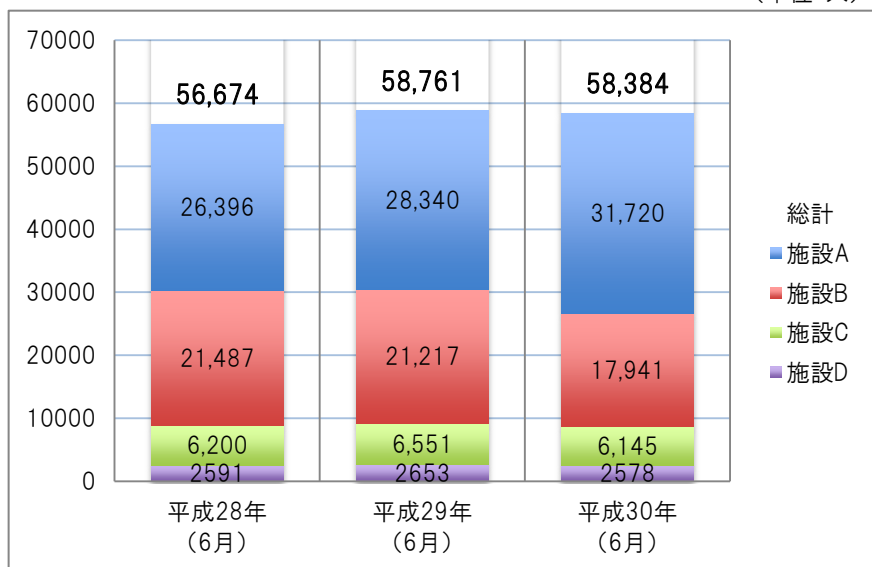
＜宿泊施設トピックス＞・宿泊者数は前年の同月とほぼ同数となった。これは「復興関連」が大幅に増加した(同月前年比 247%)もので、「観光+その他」の合計は同月前年比 71.5%と大幅に落ち込んでいる。主にビジネス客である「その他」の客は同月前年比 48%と半減している。観光客は同 98.9%と微減に止まっており、ビジネス客の大幅減少が大きく影響していることがわかる。一方で宿泊施設からは「ビジネス客や工事関係者の利用も引き続き増加傾向にある」とのコメントもあった。・復興関連需要については「長期滞在予約を多く受注することができた」などのコメントが寄せられた。それでも他の月に比べて 6 月は「工事需要も薄く、静かな月となった」とのこと。

## 2. 物販施設(レジ通過人数)

### (1) 同月前年比

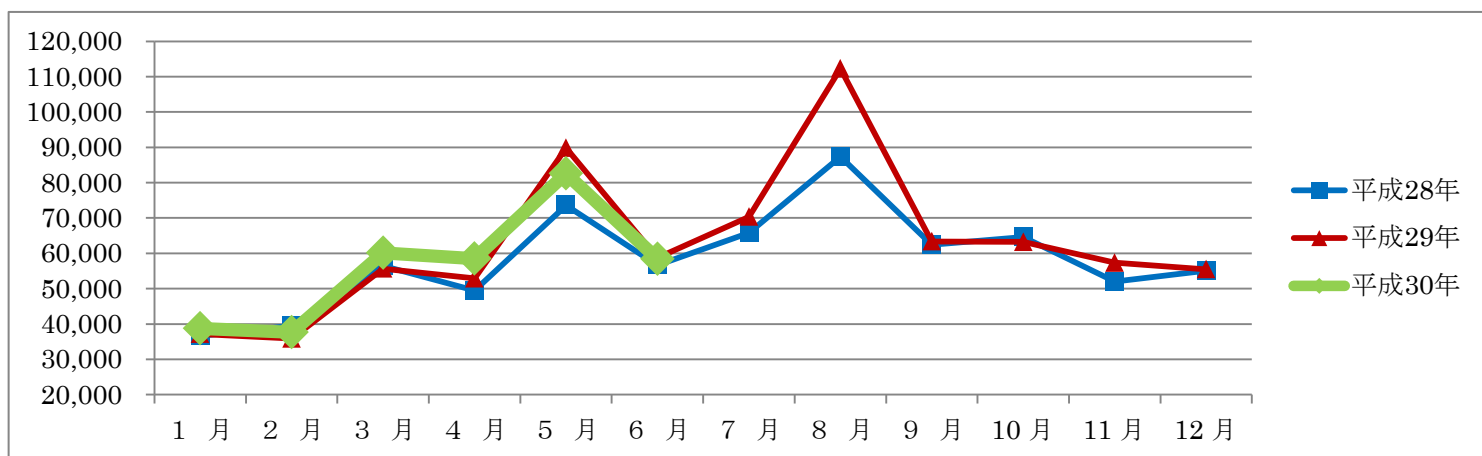
(単位:人)

(単位:人)

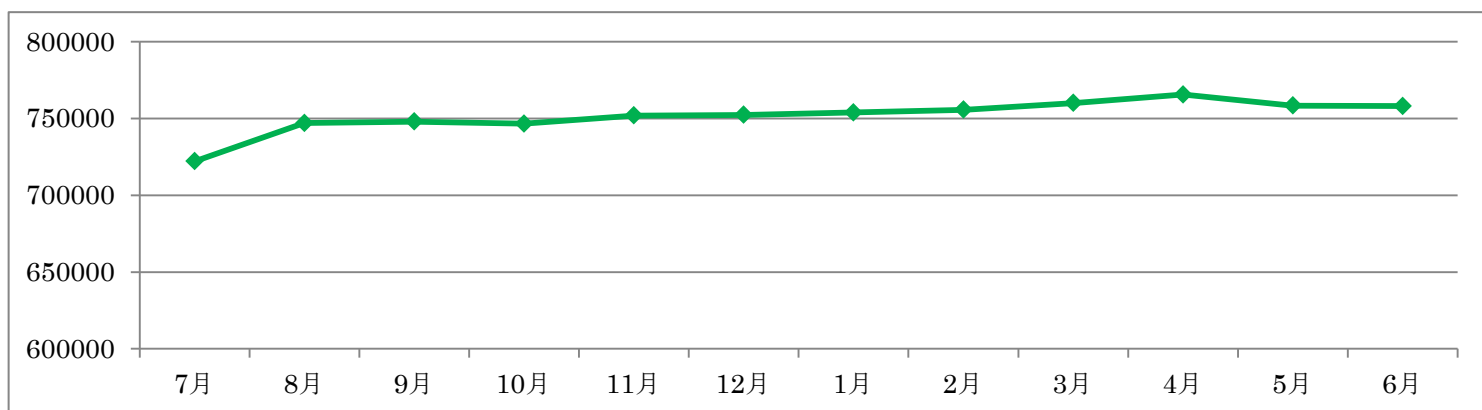


物販施設	平成28年 (6月)	平成29年 (6月)	平成30年 (6月)
施設A	26,396	28,340	31,720
施設B	21,487	21,217	17,941
施設C	6,200	6,551	6,145
施設D	2,591	2,653	2,578
総計	56,674	58,761	58,384

### (2) 年間推移



### (3) 移動年計



#### <物販施設ピックアップ>

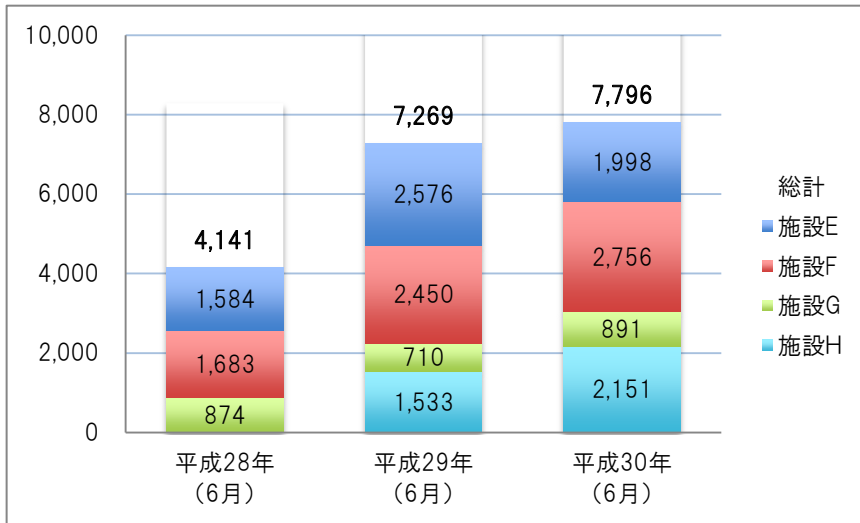
- ・同月前年比 99.4%とほぼ同数となった。施設Aが同 111.9%と増加した一方、施設B・C・Dは減少している。
- ・移動年計についても前月は微減に転じたが、今月はほぼ同数となっている。

### 3. 観光施設(利用人数)

(1)同月前年比

(単位:人)

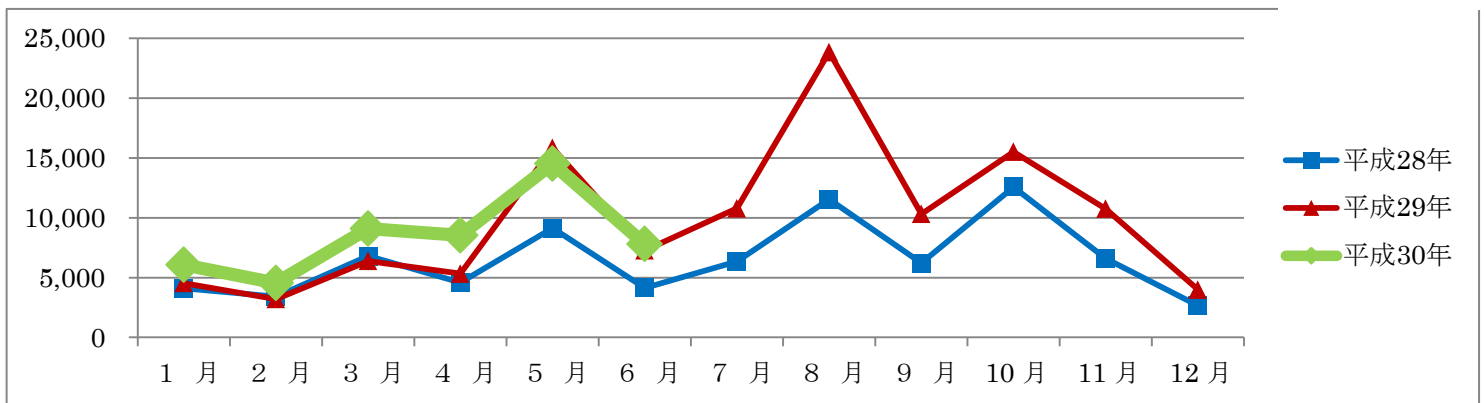
(単位:人)



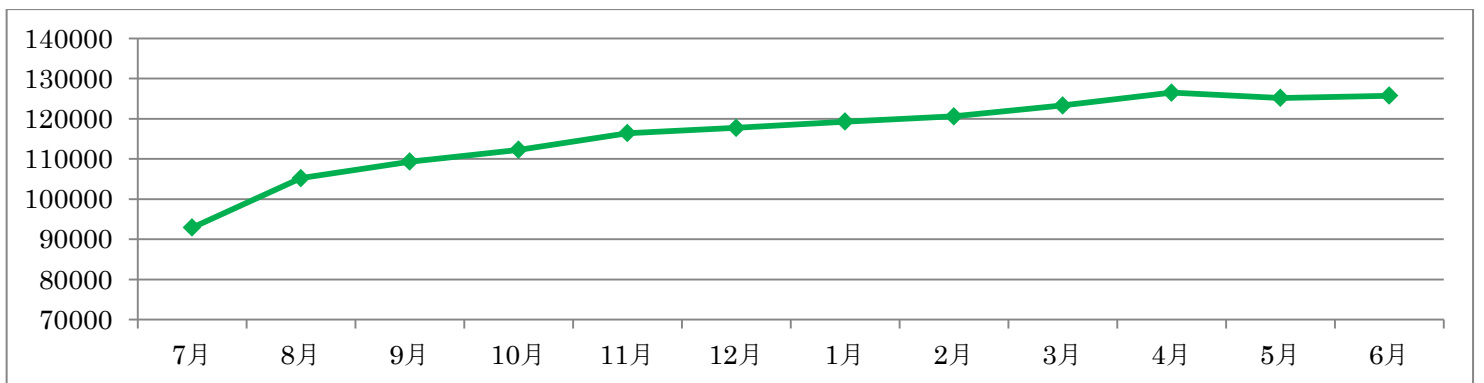
観光施設	平成 28 年 (6 月)	平成 29 年 (6 月)	平成 30 年 (6 月)
施設 E	1,584	2,576	1,998
施設 F	1,683	2,450	2,756
施設 G	874	710	891
施設 H		1,533	2,151
総計	4,141	7,269	7,796

(2)年間推移

(単位:人)



(3)移動年計



※平成 29 年 5 月より施設 H を追加し、調査しています。

#### <観光施設トピックス>

- ・同月前年比 107.2%と増加した。施設F・G・Hとも前年を上回っている。
- ・先月減少に転じた移動年計も今月は増加に転じている。

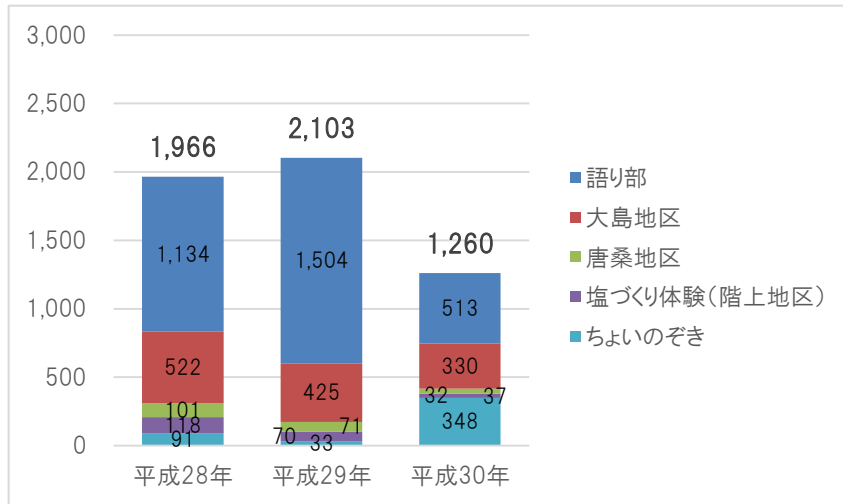
#### 4. アクティビティ体験

##### (1) 体験人数

###### ① 同月前年比

(単位:人)

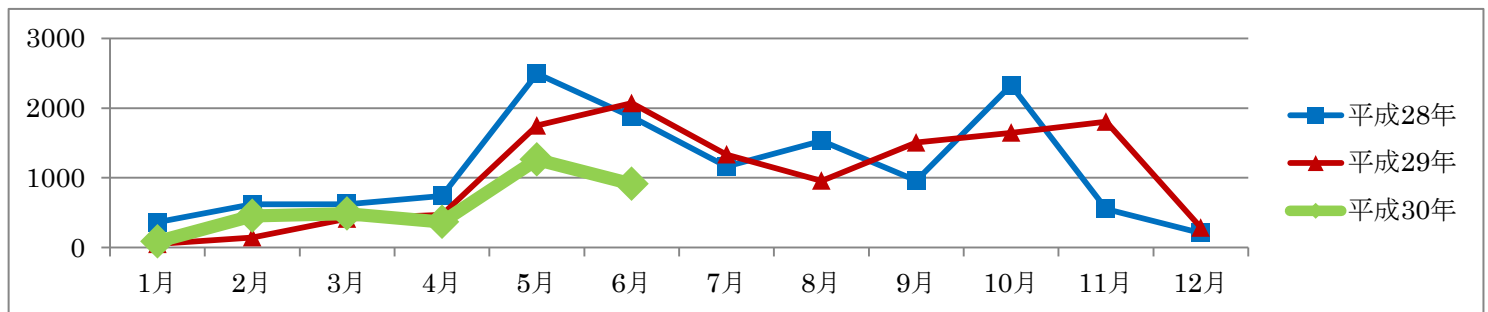
(単位:人)



アクティビティ	平成 28 年 (6 月)	平成 29 年 (6 月)	平成 30 年 (6 月)
語り部	1,134	1,504	513
大島地区	522	425	330
唐桑地区	101	71	37
塩づくり体験 (階上地区)	118	70	32
ちよいのぞき	91	33	348
総計	1,966	2,103	1,260

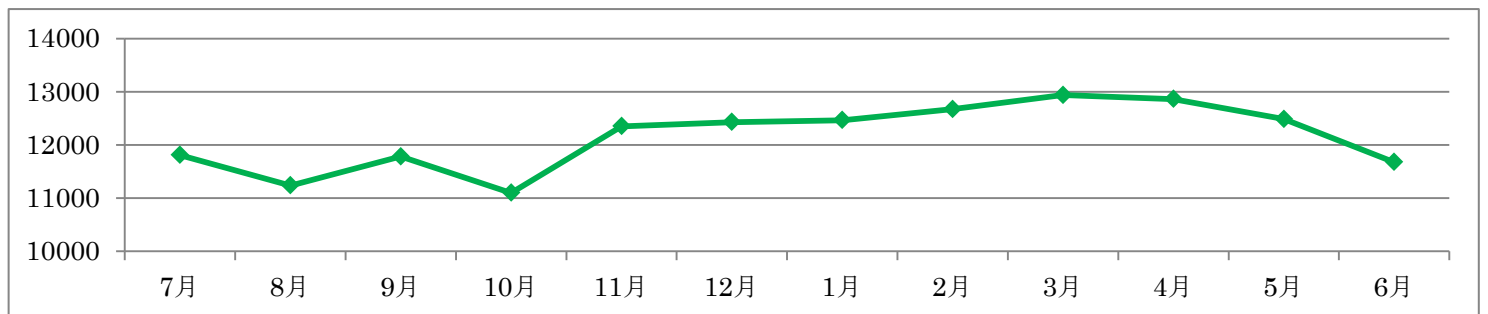
###### ② 年間推移

(単位:人)



###### ③ 移動年計

(単位:人)

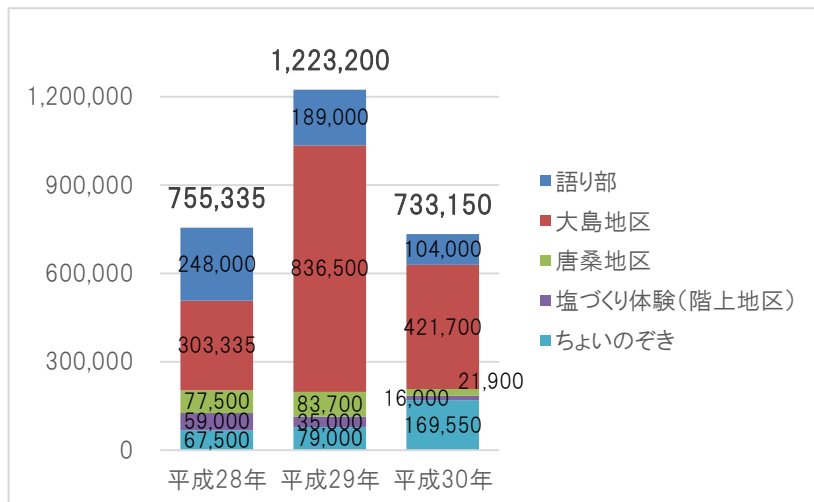


##### (2) 体験金額

###### ① 同月前年比

(単位:円)

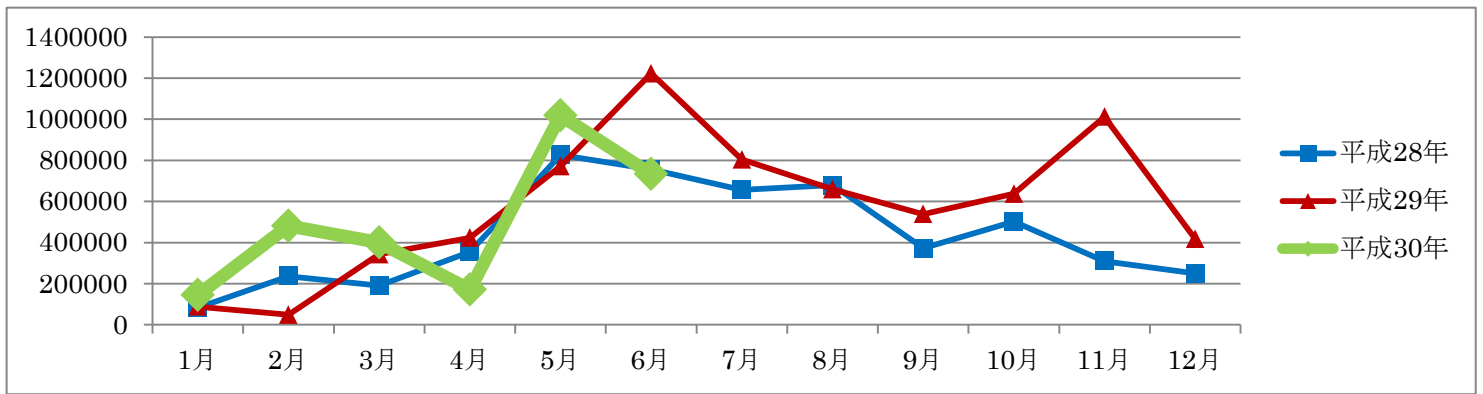
(単位:円)



アクティビティ	平成 28 年 (6 月)	平成 29 年 (6 月)	平成 30 年 (6 月)
語り部	248,000	189,000	104,000
大島地区	303,335	836,500	421,700
唐桑地区	77,500	83,700	21,900
塩づくり体験 (階上地区)	59,000	35,000	16,000
ちよいのぞき	67,500	79,000	169,550
総計	755,335	1,223,200	733,150

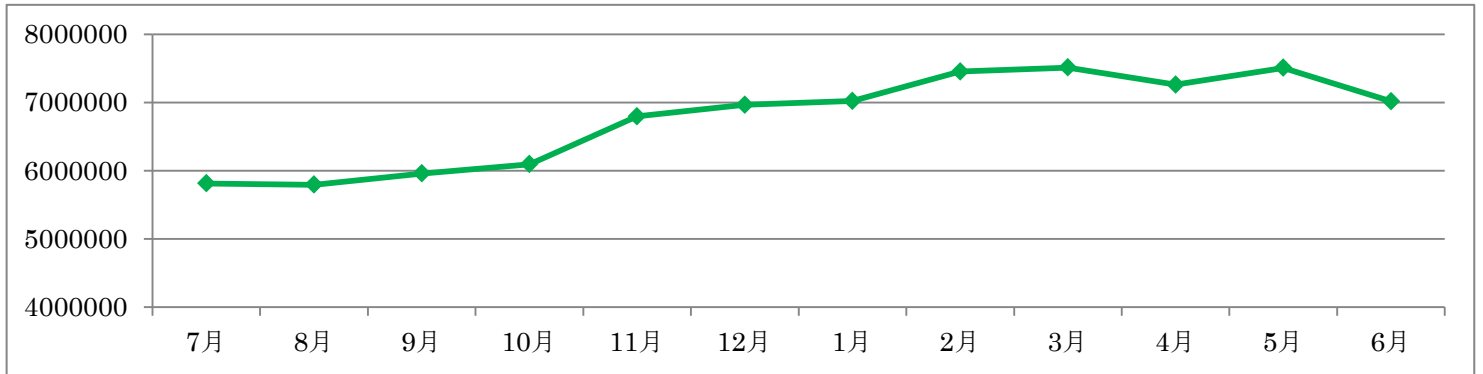
②年間推移

(単位:円)



③移動年計

(単位:円)



<アクティビティ体験トピックス>

・人数、金額共に前年同月比 59.9%と大きく減少した。なかでも「語り部」の利用が減少しており、人数が 34.1%、金額は 55.0%と激減している。受け入れ先の気仙沼観光コンベンション協会によると、その要因は団体の利用が大きく減ったためとのこと。

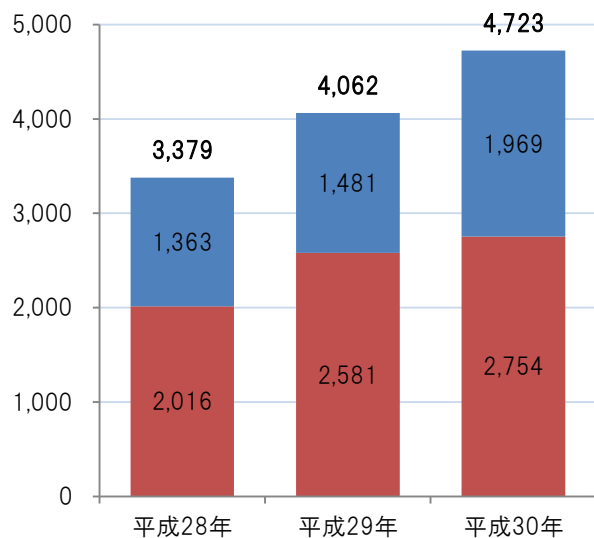
・「ちよいのぞき」は教育旅行で利用されたこともあり、人数で 1054.5%、金額で 214.6%と増加した。

5. 観光案内所

(1) 利用人数(同月前年比)

(単位:人)

(単位:人)



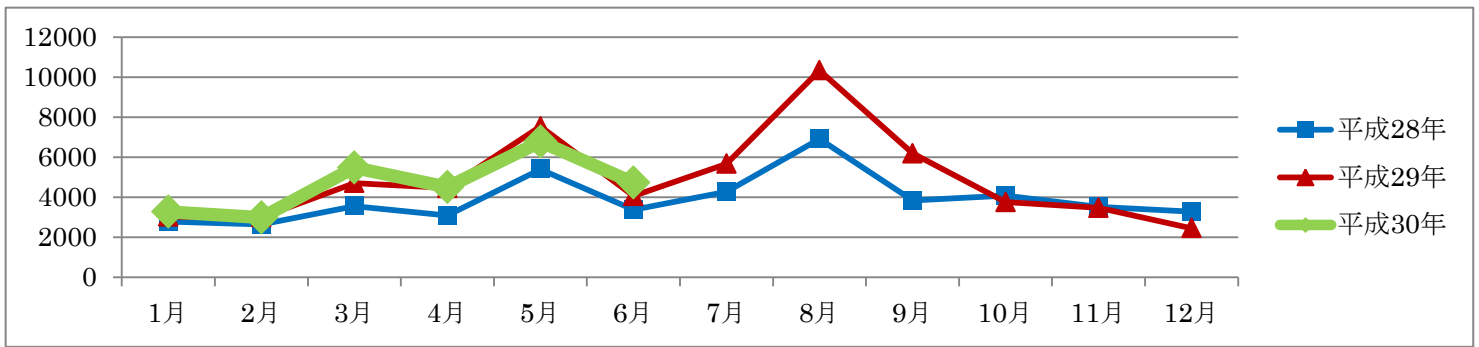
合計

■ 駅前観光案内所  
■ 海の市観光サービスセンター

観光案内所	平成 28 年 (6 月)	平成 29 年 (6 月)	平成 30 年 (6 月)
駅前観光案内所	1,363	1,481	1,969
海の市観光サービスセンター	2,016	2,581	2,754
総計	3,379	4,062	4,723

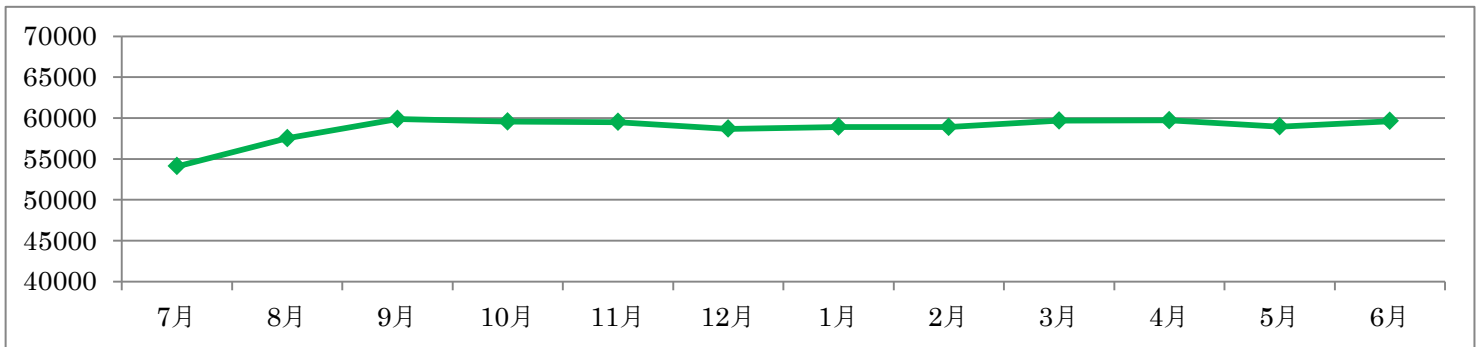
(2) 同年間推移

(単位:人)



(3) 移動年計

(単位:人)



<観光案内所トピックス>

・「駅前観光案内所」は同月前年比 133.0%、「海の市観光サービスセンター」は同 106.7%と共に増加した。この2つを運営する気仙沼観光コンベンション協会によると、特に駅前観光案内所の利用人数は増加傾向にあり、例えば週末の利用者数で言えば、昨年6月前半は100人を割ることもあったが、今年はほぼ100人を超えているとのことである。